

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東葛ホールディングス
コード番号 2754 URL <http://www.tkhd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石塚 俊之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 吉井 徹

TEL 047-346-1190

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,728	18.2	108	38.7	106	42.0	64	44.7
26年3月期第1四半期	1,462	△17.0	78	△27.1	75	△28.2	44	△28.1

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 64百万円 (44.7%) 26年3月期第1四半期 44百万円 (△28.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	13.37	13.15
26年3月期第1四半期	9.24	9.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	7,031	3,098	43.9
26年3月期	7,108	3,082	43.2

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,088百万円 26年3月期 3,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,281	2.4	199	0.9	193	0.1	118	3.6	24.61
通期	8,003	7.2	493	3.0	480	0.8	298	10.1	61.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期1Q	4,830,000 株	26年3月期	4,830,000 株
27年3月期1Q	800 株	26年3月期	800 株
27年3月期1Q	4,829,200 株	26年3月期1Q	4,829,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年6月30日）におけるわが国の経済環境は、公共投資、個人消費等に消費税引き上げによる駆け込み需要の反動による落ち込みがあるものの、企業収益、雇用環境等が改善に向かっていることもあり、徐々に持ち直しつつあります。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、昨秋以降に発売された新型車の販売は堅調に推移したものの、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減もあり、当第1四半期連結累計期間の国内新車販売台数は1,161,149台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比1.9%減）となりました。

車種別では、ハイブリッド車（フィットハイブリッド、アクア等）、軽自動車（N-BOX、タント等）、コンパクトカー（フィット、ノート等）が販売の上位を占めております。

当社グループにおけるセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

新車販売につきましては、消費税引き上げに伴う反動減は予想以上に大きく大変厳しい環境となりましたが、前期末に発生した売れ筋車種のリコールや降雪による車両納期の長期化が改善されたこと等から販売台数は528台

（前年同四半期比16.6%増）となりました。販売車種構成につきましても登録車の販売比率が前年同四半期に比べて増加したことから1台当りの販売単価は上昇しました。また、整備業務を行うサービス売上、販売台数の増加に伴い登録受取手数料等の手数料収入はともに増加しました。売上高は13億96百万円（前年同四半期比24.1%増）となりました。

中古車販売につきましては、新車部門からの下取車のほか、オークション等からの外部仕入も行い、販売車両の確保に注力しましたが、消費税増税の反動減等もあり販売台数は490台（前年同四半期比4.5%減。内訳：小売台数228台（前年同四半期比5.8%減）、卸売台数262台（前年同四半期比3.3%減））となりました。また、サービス売上は増加しましたが、販売台数の減少により登録受取手数料等の手数料収入は減少しました。売上高は3億7百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業では保険契約件数は横ばいで推移したものの、保険取扱手数料が減少したことから売上高は24百万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は17億28百万円（前年同四半期比18.2%増）となりました。

また、損益につきましては、営業利益は1億8百万円（前年同四半期比38.7%増）、経常利益は1億6百万円（前年同四半期比42.0%増）、四半期純利益は64百万円（前年同四半期比44.7%増）となりました。これは、当社グループ全体の売上高に占める割合が大きい新車販売の売上高が前年同四半期に比べて増加したことから、営業利益、経常利益及び四半期純利益はいずれも増加となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期末連結会計期間末の流動資産は41億51百万円となり、前連結会計年度末に比べて89百万円減少いたしました。これは商品及び製品が2億6百万円、受取手形及び売掛金が11百万円それぞれ増加、現金及び預金が2億57百万円、その他の資産が50百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は28億79百万円となり、前連結会計年度末に比べて12百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が15百万円増加、投資その他の資産が2百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は70億31百万円となり、前連結会計年度末に比べて77百万円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期末連結会計期間末の流動負債は34億63百万円となり、前連結会計年度末に比べて81百万円減少いたしました。これは主に買掛金が2百万円、短期借入金が10百万円、賞与引当金が22百万円それぞれ増加、未払法人税等が82百万円、その他の負債が34百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は4億69百万円となり、前連結会計年度末に比べて12百万円減少いたしました。これはその他の負債が3百万円増加、長期借入金が16百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は39億32百万円となり、前連結会計年度末に比べて93百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期末連結会計期間末の純資産合計は30億98百万円となり、前連結会計年度末に比べて16百万円増加いたしました。これは四半期利益64百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は43.9%（前連結会計年度末は43.2%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億57百万円減少し、当四半期連結会計期間末には9億70百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は2億6百万円（前年同四半期は15百万円の獲得）となりました。これは税金等調整前四半期純利益1億6百万円から主に減価償却費27百万円、賞与引当金の増加額22百万円、売上債権の増加額20百万円、たな卸資産の増加額2億48百万円、その他の資産の減少額50百万円、その他の負債の減少額22百万円及び法人税等の支払額1億23百万円等を調整したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は2百万円（前年同四半期は52百万円の獲得）となりました。これは貸付金の回収による収入2百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は53百万円（前年同四半期は93百万円の使用）となりました。これは借入金の返済による支出5百万円、配当金の支払による支出48百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、概ね計画通りに推移していることから、平成26年5月9日の「平成26年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,228,020	970,964
受取手形及び売掛金	2,476,584	2,488,522
商品及び製品	282,436	488,813
その他	254,131	203,343
流動資産合計	4,241,172	4,151,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	508,512	498,990
機械装置及び運搬具（純額）	158,122	183,684
土地	1,935,816	1,935,816
その他（純額）	4,502	3,953
有形固定資産合計	2,606,954	2,622,444
無形固定資産	1,674	1,399
投資その他の資産	258,441	255,707
固定資産合計	2,867,069	2,879,552
資産合計	7,108,242	7,031,196
負債の部		
流動負債		
買掛金	516,696	519,568
短期借入金	2,489,225	2,500,076
1年内返済予定の長期借入金	64,284	64,324
未払法人税等	123,042	40,844
賞与引当金	43,189	65,294
その他	307,867	273,178
流動負債合計	3,544,306	3,463,286
固定負債		
長期借入金	232,771	216,660
その他	248,897	252,683
固定負債合計	481,668	469,343
負債合計	4,025,974	3,932,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	210,300	210,300
資本剰余金	199,711	199,711
利益剰余金	2,662,407	2,678,706
自己株式	△325	△325
株主資本合計	3,072,093	3,088,392
新株予約権	10,174	10,174
純資産合計	3,082,267	3,098,566
負債純資産合計	7,108,242	7,031,196

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）
売上高	1,462,470	1,728,198
売上原価	1,086,568	1,318,645
売上総利益	375,902	409,553
販売費及び一般管理費	297,548	300,841
営業利益	78,354	108,712
営業外収益		
受取利息	484	444
受取手数料	994	988
その他	437	1,418
営業外収益合計	1,915	2,852
営業外費用		
支払利息	5,106	4,854
営業外費用合計	5,106	4,854
経常利益	75,163	106,709
特別利益		
固定資産売却益	1,509	—
特別利益合計	1,509	—
税金等調整前四半期純利益	76,672	106,709
法人税等	32,033	42,118
少数株主損益調整前四半期純利益	44,639	64,591
四半期純利益	44,639	64,591

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	44,639	64,591
四半期包括利益	44,639	64,591
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,639	64,591
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	76,672	106,709
減価償却費	20,367	27,226
賞与引当金の増減額（△は減少）	22,092	22,105
受取利息及び受取配当金	△484	△444
支払利息	5,106	4,854
売上債権の増減額（△は増加）	47,647	△20,754
たな卸資産の増減額（△は増加）	72,461	△248,819
仕入債務の増減額（△は減少）	△188,082	2,871
その他の資産の増減額（△は増加）	27,132	50,015
その他の負債の増減額（△は減少）	7,193	△22,068
小計	90,108	△78,305
利息及び配当金の受取額	11	11
利息の支払額	△4,828	△4,875
法人税等の支払額	△69,798	△123,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,492	△206,213
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△79,785	—
有形固定資産の売却による収入	129,561	—
貸付金の回収による収入	2,682	2,682
差入保証金の差入による支出	△33	△12
差入保証金の回収による収入	93	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	52,518	2,669
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△41,223	10,850
長期借入金の返済による支出	△3,570	△16,071
配当金の支払額	△48,292	△48,292
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,085	△53,512
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△25,074	△257,056
現金及び現金同等物の期首残高	1,134,108	1,228,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,109,033	970,964

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 （注）	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,124,988	311,891	1,436,880	25,590	1,462,470
セグメント間の内部売上高又は振替高	57,870	—	57,870	—	57,870
計	1,182,858	311,891	1,494,750	25,590	1,520,341
セグメント利益	77,322	35,221	112,543	2,874	115,418

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	112,543
「その他」の区分の利益	2,874
全社費用（注）	△37,064
四半期連結損益計算書の営業利益	78,354

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,396,670	307,466	1,704,137	24,061	1,728,198
セグメント間の内部売上高又は振替高	104,427	—	104,427	—	104,427
計	1,501,098	307,466	1,808,564	24,061	1,832,626
セグメント利益	106,665	35,442	142,107	3,247	145,355

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	142,107
「その他」の区分の利益	3,247
全社費用（注）	△36,643
四半期連結損益計算書の営業利益	108,712

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。